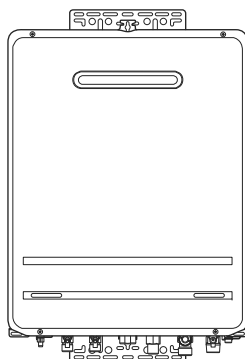
潜熱回収型　ガスふろ給湯器

型　番	型式名
131-P670型	T-29-1 （FH-E205AWL(OG)）
131-P672型	T-29-2 （FH-E205ATL(OG)）
131-P675型	T-29-4 （FH-E205ABL(OG)）
131-P676型	T-29-3 （FH-E205AUL(OG)）

取扱説明書

保証書付　BL認定部品

このたびは大阪ガスのガスふろ給湯器をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

●正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。
●この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。
●この「取扱説明書」の裏表紙が「保証書」になっています。保証期間、保証内容などを確認のうえ、大切に保管しておいてください。
●この「取扱説明書」に書かれている内容以外ではご使用にならないでください。
●この機器は国内専用です。海外では使用できません。
●「取扱説明書」を紛失された場合は、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスまでお問い合せください。

大阪ガス

ご使用前にリモコンの型番を確認しましょう！

リモコンによって仕様が一部異なります。
→11・13ページ参照

◆時計を合わせたい P17
◆お湯を出したい P18
◆給湯温度を調節したい P19
◆優先スイッチって何？ P20
◆お湯はりをしたい P21

◆ふろ温度を調節したい P23

◆ふろ湯量を調節したい P24

◆保温時間を変更したい P25

快適バスタイム

保温時間を調節して入浴時間のズレにも対応します

◆おふろをあつくしたい P26

◆おふろをぬるくしたい P27

◆おふろにお湯をたしたい P28

お湯がぬるい、熱い、足りないときもスイッチ一つで対応します

◆残り湯を沸かし直したい P29

残り湯の量によって方法が異なりますので注意してください。

◆予約運転でお湯はりしたい P31

◆予約時刻を設定したい P33

帰宅時間に合わせてお湯はりが可能です

◆音の大きさを変えたい P34~P36
長期旅行や引っ越し時には、機器の水抜きを必ず行いましょう！
（特に寒い地域でご使用の場合）
→51ページ参照

◆おふろと台所の間で呼び出し音が鳴らせます P37
◆省電力モード

運転が「入」の状態で約10分間リモコンの操作をしないとリモコンの表示画面が消える設定になっています。

P38
◆配管クリーン

P39
◆チャイルドロック

小さなお子さまのいたずらによる事故を防止するため、ロック機能がついています。

P41

もくじ

安全上のご注意（必ずお守りください）

安全に正しくお使いいただくために

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示について次のような意味があります。

禁止 火気禁止 分解禁止 濡れ手禁止	この絵表示はしてはいけない「禁止」の内容です。
発火注意 高温注意	この絵表示は気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
必ず行う プラグを抜く アースする	この絵表示は必ず行っていただきたい「強制」の内容です。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

禁止

この機器は屋外式のため絶対に屋内に設置しない

→不完全燃焼を起こし、一酸化炭素中毒の原因になります。

禁止

必ず行う

ガス漏れに気づいたときは…

■すぐに使用を中止する

①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉める。また、メーターのガス栓も閉める。

②お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスに連絡する。（電話の使用は離れたところで行ってください。）

必ず行う

火気禁止

■ガス事業者（供給業者）の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけない
■電気器具（換気扇その他）のスイッチの入/切をしない
■電源プラグの抜き差しをしない
■周辺で電話を使用しない

→炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

火気禁止

⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

禁止

■設置後、機器や排気口（排気筒トップ）を波板やビニール、塗装時に使用した養生シートなどで囲わない

→不完全燃焼による一酸化炭素中毒や、異常着火による火災のおそれがあります。

■外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時など養生シートで機器本体（排気口・排気筒トップ）を覆う場合は機器を使用しない

→不完全燃焼による一酸化炭素中毒や、異常着火による火災のおそれがあります。

禁止

禁止

■絶対に改造・分解は行わない

→改造・分解は一酸化炭素中毒など思わぬ事故や故障、火災の原因になります。

禁止

必ず行う

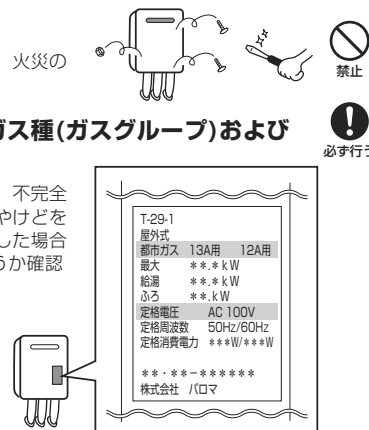
■供給ガスと機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)および電源(電圧･周波数)の適合を確認する

→供給ガスと表示のガス種および電源が一致しないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常点火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は必ずガスの種類(電源の種類)が一致しているかどうか確認してください。

※供給ガスの種類がわからない場合、または銘板に表示してあるガス種と一致しない場合は、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスに連絡する

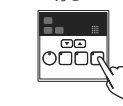
必ず行う

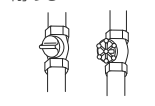
■電源はＡＣ１００Ｖを使用する

必ず行う

■異常時の処置

①点火しない場合または使用中に異常な燃焼、臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、機器が使用途中で消火してしまった場合はただちに使用を中止しガス栓を閉める
②「故障かな?と思ったら」49～53ページに従い処置する
③上記の処置をしても直らない場合は使用を中止しお買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスに連絡する
●地震、火災などの緊急の場合はただちに使用を中止しガス栓および給水元栓を閉める

給湯栓を全て閉める

運転スイッチを切る

電源プラグを抜く

ガス栓・給水元栓を閉める

※再びお使いになる前に、必ずお買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスまで点検依頼してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

禁止

■機器および排気口・排気筒トップの周囲には紙や木材など燃えやすいものを置かない

→火災の原因になります。

■機器や排気筒トップの周囲や上にスプレー缶、カセットこんろ用ボンベなどを置いたり、使用したりしない

→熱でスプレー缶内の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

■機器や排気筒トップの周囲ではスプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを置いたり、使用したりしない

→引火して火災のおそれがあります。

■機器本体に無理な力を加えない。機器本体やガスの接続口などに乗らない

→けがや機器の変形によるガス漏れや不完全燃焼、故障のおそれがあります。

必ず行う

■機器の設置（付帯工事）

→機器の設置・移動および付帯工事はお買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスに依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

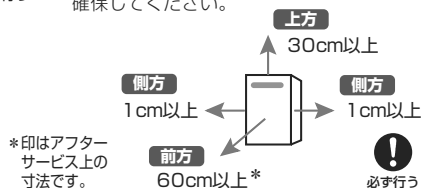
■ねじ接続

→この機器のガス接続工事は専門の資格・技術が必要です。お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスに依頼してください。

必ず行う

■離隔距離を確保する

→機器周辺の物とは常に右図の離隔距離を確保してください。

＊印はアフターサービス上の寸法です。

禁止

■この機器を太陽熱温水器（ソーラーシステム）に接続しない

→ご希望の温度より高いお湯が出てやけどをすることがあります。

■浴そうのふたの上に乗ったり手をついたりしない

→ふたが外れておぼれたり、やけどなど思わぬ事故のおそれがあります。

お子さまには…

■お子さまだけで入浴させたり、お湯を使わせたりしない

■浴そうで水に潜ったりしない

■浴室または、機器の周囲や直下で遊ばせない

→思わぬ事故につながることがあります。

※特に小さな子供のいる家庭では注意が必要です。

やけど防止のため

禁止

■使用中や使用直後は、排気口・排気筒トップとその周辺は高温になっているので、手を触れない

→やけどのおそれがあります。

■出始めのお湯は体にかけない

→お湯を止めた後に再使用するとき、お湯の量を急に少なくしたとき、トイレの水を流すなど大量の水を使用して給水圧が下がったとき、あるいは、万一機器の故障の際に一瞬熱いお湯が出ることがあります。また、給湯使用時は給湯栓が熱くなるのでやけどに注意してください。

■シャワー、給湯使用中は使用者以外はお湯の温度を変更しない

→突然熱いお湯が出てやけどをしたり、冷水が出て思わぬ事故につながることがあります。

必ず行う

■手のひらで湯温を十分に確認する

- シャワーなどお湯を使う場合、最初に熱いお湯が出ることがあります。手のひらで湯温が安定したことを確かめてからご使用ください。
- 入浴時には必ず手で湯温を確認してから入浴してください。
- おいだき中やおいだき後は十分にかきまぜてから手で湯温を確認してください。

■湯量を少なくするときはゆっくり、しぼりすぎないようにする

→急に湯量を少なくしたり、しぼりすぎると熱いお湯が出ることがあります。また、消火することもあります。

■熱いお湯を使用後は湯温をやけどしない程度の温度に戻す。熱いお湯を使用直後にぬるい温度に下げた場合、しばらく流してから使用する

→配管内の熱いお湯が出てしまうまですぐにぬるいお湯にはなりませんのでやけどのおそれがあります。

高温注意

■湯温を低めに設定した場合の注意

→水温が高い場合やお湯の量を絞って使う場合は、設定温度よりも熱いお湯が出ることがあります。やけど防止のため、このような場合は湯量を多めにし、湯温を確認してからお使いください。

■おふろを沸かしているとき（沸かし直ししているとき）やおいだきしているときは、循環アダプター付近が熱くなるので注意する。また、自動運転中は定期的においだきするので注意する

→熱いお湯が出るためやけどのおそれがあります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

■電源プラグの差し込みが不完全な状態で使用しない
■傷んだ電源プラグや電源コード、緩んだコンセントは使わない

→感電や火災の原因になります。

■電源コードを引っ張って電源プラグを抜かない

→電源コードを引っぱると破損して感電や火災の原因になります。

■電源コードの取り扱い注意

●電源コード・電源プラグは…
・傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。

●電源コードは…
・束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。
・物をのせたり、衝撃を与えたり、無理な力を加えないでください。
・切断して延長しないでください。電源コードがコンセントに届く範囲にしてください。

→感電、漏電、ショートや発火による火災のおそれがあります。

■ぬれた手で電源プラグを触らない。
すでに雨が降り出している場合は、電源プラグを抜かない

→感電のおそれがあります。

■電源プラグはほこりを定期的にふき取る

→電源プラグにほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布などでふいてください。

■アースがされていることを確認する

→この機器はアースが必要です。アースが不完全な場合、機器の故障や漏電による感電のおそれがあります。ご不明な場合はお買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスにご確認ください。

注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■給湯・シャワー・おいだき以外の用途には使用しない

→思わぬ事故の原因となることがあります。

■排気口・排気筒トップに指や棒などを入れない

→けがや故障の原因となります。

■ドレン排出口から排出される水を飲料用、調理用、飼育用などには使用しない

おねがい

■家庭用製品

この製品は家庭用ですので業務用のような使用をすると機器の寿命が著しく短くなります。
※この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

■補修用性能部品および補助具について

補修用性能部品および補助具は当社の純正部品以外は使わないでください。当社の純正部品以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。

■点火・消火の確認

使用時の点火、使用後の消火を確認してください。
※リモコンの点火確認ランプで確認してください。（詳しくは18・22ページをご覧ください。）

■ガス事故防止

使用後はリモコンを「切」にしてください。長時間使用しない場合は、ガス栓も必ず閉めてください。

■温泉水や井戸水・地下水を使わない

水質によっては機器の破損および水漏れの原因となります。上水道を使用してください。
※温泉水や井戸水・地下水をお使いになって生じた故障についての修理・補修費用はお客様の負担となります。

■飲用、調理用にお使いのときは

機器や配管内に長時間たまっていた水や、朝一番のお湯は飲用や調理には用いないで雑用水としてお使いください。飲用される場合は下記の点に注意してください。
・必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
・熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっている水）は雑用水としてお使いください。
・固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せず、ただちにお買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスまで点検を依頼してください。

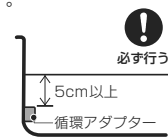
■薬用入浴剤や洗剤のご使用について

・硫黄、酸、アルカリを含んだ薬用入浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因になりますので使用しないでください。
・入浴剤や洗剤は注意文を十分にお読みになってからお使いください。
・泡の出る入浴剤は使用しないでください。使用した場合、循環不良となりふろ自動運転やおいだきができない場合があります。

■入浴時の注意

浴そうの循環アダプターをタオルなどでふさがないでください。故障の原因となります。

■浴そうの湯量に関する注意

おいだきするときは、浴そうの湯量が循環アダプターの上端より5ｃｍ以上あることを確認してください。
湯量が少ないと、空だきによる機器の故障や浴そうの損傷、火災の原因になります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

おねがい

■リモコンの注意

・リモコンは子供がいたずらしないように注意してください。
・浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。
台所リモコンは防水タイプではありません。炊飯器、電気ポットなどの蒸気にもあたらないように注意してください。
また、台所リモコンの周りの壁にかけてたれた洗剤や水はリモコンにかからないようにふき取ってください。故障の原因になります。
・リモコンは分解したり、乱暴に扱わないでください。

■リモコンの設置場所について

サウナなど室温が55℃を超える場所に取り付けないでください。故障の原因になります。
（5〜55℃の範囲内で使用してください。）

■リモコンのスピーカーに耳を近づけて使用しない

大きな音が出ることがあります。聴覚障害を引き起こすおそれがあります。

■雷時の注意

雷が発生し始めたら速やかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。（またはブレーカーを落としてください。）
雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
雷がやんだ後は、電源プラグが濡れていないことを確認してコンセントに差込み、時刻の再設定を行ってください。

■停電・断水のときは

・停電・断水時は運転を停止しますので、給湯栓を閉めておいてください。給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。（通電・通水後はあらためて操作してください。）
・冬期など気温の低いときに停電・断水した場合は「水抜きによる方法」で凍結による破損防止の処置を行ってください。（47ページ参照）
・断水から復帰した後、使い始めのお湯は飲用や調理用に用いないでください。断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管内にとどまることがあります。
・断水から復帰した後は、蛇口から十分水を流してから使用してください。

断水後は配管内に空気が入っているため、すぐに運転すると空だきのおそれがあります。
運転スイッチを「切」にした状態で給湯栓を開け、十分水を流してから使用してください。

■電源について

凍結予防運転のために電気を使用していますから、緊急のとき以外は電源プラグを抜かないでください。

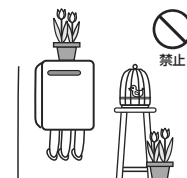
■本体の上に金属製の物を置かない

本体がさび、穴あきなどの原因になります。

■水をお使いのときは

リモコンを「切」にして給湯栓側で水を使用したりシャワーを浴びたりすることは、故障の原因になりますのでおやめください。機器内通水部分の結露により、機器の寿命が短くなります。
水をお使いのときは必ず給水栓側（シングルレバー式混合水栓の場合は完全にレバーを水側にしてから）を開いてください。

■排気口の周囲

排気口からの排ガスによって加熱されて困るもの（危険物、植物、ペットなど）を排気口・排気筒トップの周囲に置かないでください。
増改築などによって、燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。

■積雪時は給気口・排気口・排気筒トップの点検、除雪を行う

積雪や、屋根から落ちた雪により給気口・排気口・排気筒トップがふさがれないように注意してください。
故障の原因になります。

■増改築時の注意

塀などを増設する場合は、空気の流れが停滞しないように考慮してください。機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良の原因になります。
また、機器の点検・修理のための空間を確保してください。塀などと機器との間に十分な空間がないと、点検・修理に支障をきたすおそれがあります。（機器の点検・修理のための空間についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスまでご連絡ください。）

■機器の下に配管カバー（または据置台）が取り付けられている場合

点検・お手入れ、凍結予防の水抜きなどにより配管カバー（または据置台）の前板を取り外されたときは作業終了後、前板を元通り取り付けてください。
化粧ねじは緩みが無いように確実に締め付けてください。

■長期間使用しない場合

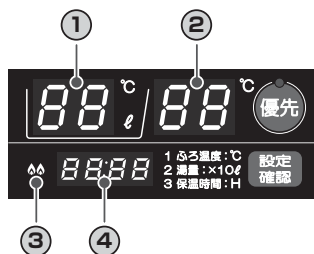
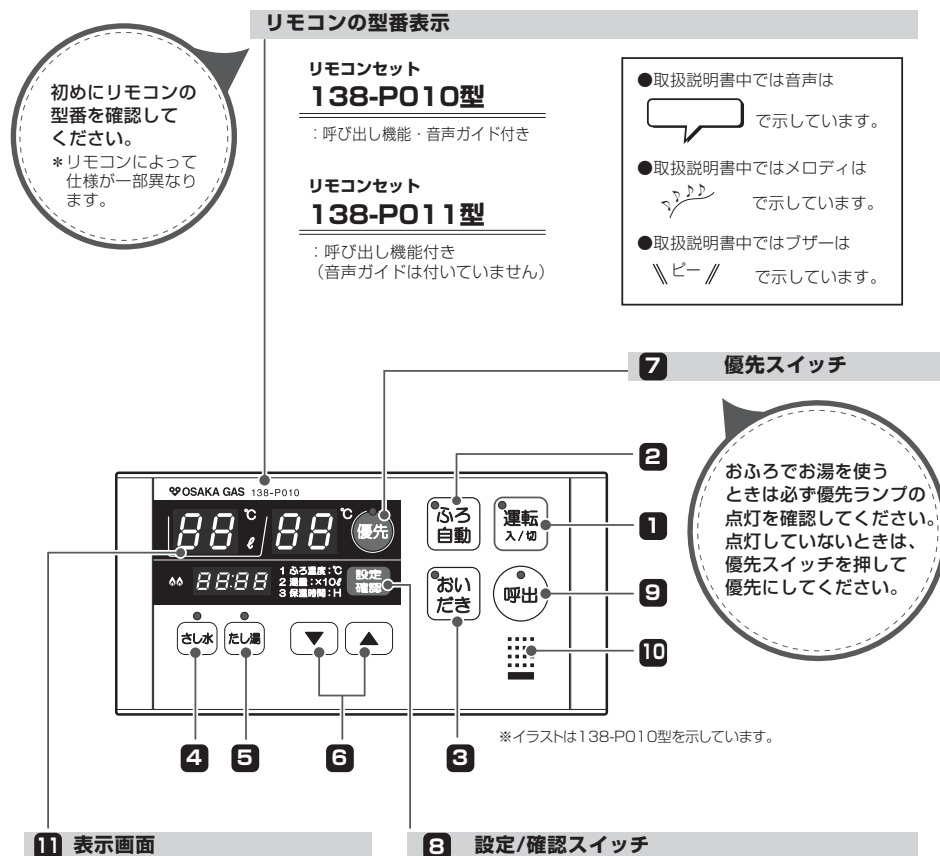
長期間使用しない場合は、ガス栓・給水元栓を閉める、機器の水抜きをする、電源プラグを抜くなど適切な処置を行ってください。（詳しくは47ページをご覧ください。）

■設置状態の確認

下記の項目に当てはまる場所に設置されているか確認してください。

●水平な場所（確実に設置のできる場所）
●冷房装置や暖房装置の吹き出し口・吸い込み口がない場所
→正常な燃焼の妨げになることがあります。
●落下物の危険がない場所
●周囲に可燃物や引火性のものがない場所
●給気口・排気口に強い風が吹き込まない場所
●足場などを組まなくてもメンテナンスできる場所（高所以外の場所）
●近所の家が騒音（燃焼音・燃焼用送風機音・ポンプ回転音）で迷惑にならない場所
●階段・避難口から離れた場所
●排気口から吹き出される排気ガスが建物の外壁や窓にあたらない場所

各部のなまえとはたらき（浴室リモコン【別売品】）

◎リモコン表面に保護シートが貼ってある場合は、はがしてご使用ください。

・ふろ湯量の調節
・ふろ温度の調節
・保温時間の調節
・音量の調節
・配管クリーンの有/無の変更
をしたいときは、設定/確認スイッチを押して変更します。

1 運転スイッチ

運転の入/切を行います。
●運転スイッチの「入」・「切」はすべてのリモコンで連動します。

2 ふろ自動スイッチ

ふろ自動運転をするときに使用します。

3 おいだきスイッチ

もう少し熱いおふろにおいだきしたり、ふろ温度まで沸かし直すときに使用します。

4 さし水スイッチ

おふろをぬるくするときに使用します。

5 たし湯スイッチ

おふろにたし湯するときに使用します。

6 選択スイッチ

給湯温度やふろ温度、湯量、音量など各種設定値を変更するときに使用します。

7 優先スイッチ

リモコンの優先権を切り替えるときに使用します。優先ランプが点灯しているときは、給湯温度を変更することができます。

8 設定/確認スイッチ

ふろ温度や湯量、保温時間、音量など各種設定項目の変更および確認をするときに使用します。

9 呼び出しスイッチ

誰かを呼び出すときに使用します。

10 スピーカー

138-P010型のみ

11 表示画面

① ふろ温度表示

ふろ温度を表示します。
●ふろ湯量・保温時間・たし湯量などの設定を変更するときには設定内容が表示されます。

② 給湯温度表示

給湯温度を表示します。

③ 点火確認ランプ

機器が燃焼しているときに点灯します。

④ 時刻表示

現在時刻を表示します。
●予約時刻の設定を変更するときには予約時刻が表示されます。
●設定/確認スイッチを押したときは、設定項目番号※が表示されます。
●不具合が発生した場合には、エラーコードが表示されます。

※設定項目番号について

ふろ温度や湯量、保温時間などは設定/確認スイッチを押し、設定項目番号を表示して設定します。
設定項目番号は1～6まであります。運転の「入」「切」の状態で設定できる項目が異なります。

状態	設定項目番号	内容	参照ページ
運転「入」時のみ	1	ふろ温度の調節	23
	2	ふろ湯量の調節	24
運転「入」「切」に関係なし	3	保温時間の変更	25
運転「切」時のみ	4	音声ガイド音の調節（138-P011型では設定できません。）	34
	5	操作確認音・お知らせ音の調節	35
	6	配管クリーンの設定	39

各部のなまえとはたらき（台所リモコン【別売品】）

◎リモコン表面に保護シートが貼ってある場合は、はがしてご使用ください。

1 運転スイッチ

運転の入/切を行います。
●運転スイッチの「入」・「切」はすべてのリモコンで連動します。

2 ふろ自動スイッチ

ふろ自動運転をするときに使用します。

3 おいだきスイッチ

もう少し熱いおふろにおいだきしたり、ふろ温度まで沸かし直すときに使用します。

4 ふろ予約スイッチ

ふろ自動運転の予約をするときに使用します。

5 時刻合せスイッチ

時刻を設定するときに使用します。

6 選択スイッチ

給湯温度やふろ温度、湯量、音量など各種設定値を変更するときに使用します。

7 設定/確認スイッチ

ふろ温度や湯量、保温時間、音量など各種設定項目の変更および確認をするときに使用します。

8 呼び出しスイッチ

誰かを呼び出すときに使用します。

9 スピーカー　138-P010型のみ

10 表示画面

① 点火確認ランプ

機器が燃焼しているときに点灯します。

② 時刻表示

現在時刻を表示します。
●予約時刻の設定を変更するときには予約時刻が表示されます。
●設定/確認スイッチを押したときは、設定項目番号※が表示されます。
●不具合が発生した場合には、エラーコードが表示されます。

③ 優先ランプ

この表示が点灯しているときは、給湯温度を変更することができます。

④ 給湯温度表示

給湯温度を表示します。
●ふろ温度・ふろ湯量・保温時間などの設定を変更するときには設定内容が表示されます。

※設定項目番号について

ふろ温度や湯量、保温時間などは設定/確認スイッチを押し、設定項目番号を表示して設定します。
設定項目番号は1～6まであります。運転の「入」「切」の状態で設定できる項目が異なります。

状態	設定項目番号	内容	参照ページ
運転「入」時のみ	1	ふろ温度の調節	23
	2	ふろ湯量の調節	24
運転「入」「切」に関係なし	3	保温時間の変更	25
運転「切」時のみ	4	音声ガイド音の調節（138-P011型では設定できません。）	34
	5	操作確認音・お知らせ音の調節	35
	6	配管クリーンの設定	39

各部のなまえとはたらき（機器本体）

1 排気口

燃焼排ガスが出ます。

2 銘板・型番

型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造
事業者などを表示しています。

3 本体表示

使用上の注意について表示しています。

4 給気口

燃焼用の空気の取り入れ口です。
機器の側面や下面にもあります。

5 電源プラグ

6 水抜き栓

凍結予防のため機器の水を抜くときに外します。
（47ページ参照）

7 給水元栓

水道水の開閉を行います。

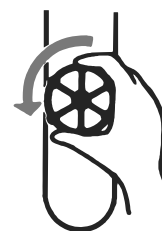
8 ガス栓

ガスの開閉を行います。

9 ドレン配管

※この先から結露水が出ます。

ドレン配管から水が排出されますが、水漏れでは
ありません。

初めてお使いになるときには

給水元栓を全開にする

ツマミは左に止まるまで回し、必ず全開で使用してください。

ガス栓を全開にする

必ず全開で使用してください。

電源プラグをコンセントに差し込む

電源（AC100V）を入れた直後（20～30秒間）は安全のための
初期動作確認を行っていますので運転しません。
しばらく待ってから操作してください。

配管カバー（または据置台）がある場合は前板をしっかりと取り付けてください。

現在時刻を設定するには

◆台所リモコンで設定します。

■台所リモコン

●現在時刻設定は台所リモコンで行い、浴室リモコンにも表示されます。
●現在時刻を設定しないと予約運転ができません。
●停電したり、電源プラグが抜けた後は、再度設定を行ってください。（停電や電源プラグが抜けていた間の時刻が遅れます。）

◎運転スイッチの「入」「切」に関係なく設定することができます。ここでは運転「切」時でご説明します。

1 時刻合せスイッチを長押しする（2秒以上）

●ピッと音がなるまで2秒以上長押ししてください。
現在時刻表示の「時」が点滅します。

現在時刻表示の「時」が点滅表示

2 選択スイッチを押し、「時」を設定する

●押し続けると連続して変わります。
●「時」は24時間表示です。

3 時刻合せスイッチを押す

●「時」の設定が完了し、「分」の設定に切り替わります。

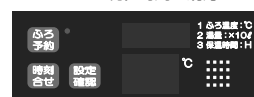
「分」が点滅表示

4 選択スイッチを押し、「分」を設定する

●押し続けると連続して変わります。

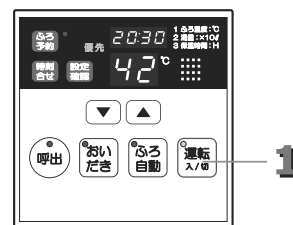
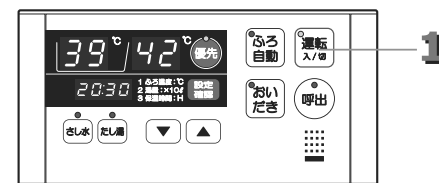
5 時刻合せスイッチを押す

●時刻設定が完了します。
●時刻合せスイッチを押さずに、そのまま約3分経過するとそのときの設定内容で自動的に設定が完了します。

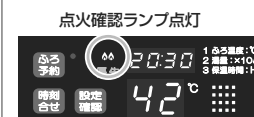
現在時刻が消灯

時刻表示はリモコンの運転が「切」の場合は消灯しますが、お好みにより常時点灯に切り替えることができます。（38ページ参照）

お湯を出すには

◆台所リモコン・浴室リモコンどちらでも操作できます。
ここでは台所リモコンでご説明します。

■台所リモコン

■浴室リモコン

1 運転スイッチを押し、運転ランプの点灯を確認する

前回設定の温度

2 給湯栓を開ける

点火確認ランプ点灯

3 給湯栓を閉める

点火確認ランプ消灯

サーモスタット付き混合水栓の場合

●混合水栓によってはハンドルの設定よりぬるいお湯が出ることがあります。このような場合は、リモコンの設定温度をご希望の温度（ハンドルの温度）より5～10℃高めに設定してください。
詳しくは混合水栓の取扱説明書をご覧ください。
●リモコンの運転スイッチが「切」の状態で水を使用する場合、混合水栓は必ず「水」の位置で使用してください。「湯」の位置で水を流すと機器内が結露して点火不良や故障の原因になります。

知っておいてね

●2箇所以上で同時にお湯を使用したり、断続的に使用すると湯量、温度が不安定になることがあります。
●お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、ふろ設定温度のお湯が出ます。また、水の温度や給湯配管の抵抗、給水圧などの条件によっては、台所やシャワーからお湯が少ししか出ない場合やまったく出ない場合があります。（機器の異常ではありません。）
●リモコンの設定温度を低くしている場合や、夏期など水温の高い場合、リモコンの設定温度よりも高い温度のお湯が出ることがあります。必要に応じて水と混ぜて湯温を確認してからお使いください。

⚠警告

■給湯栓を閉めたあとは、リモコンの設定温度をもとに戻す

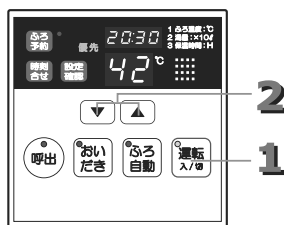
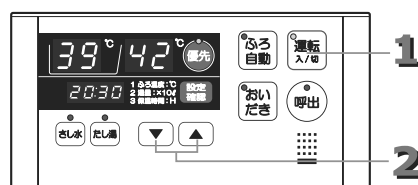
→やけどのおそれがあります。

■お湯を使用するときはやけどに注意する

●高温設定にした場合、熱いお湯が出ますので十分に注意してください。
●高温で使用した後、あらためて使用する場合、配管内に残った熱いお湯が出ることがあります。やけど予防のために出始めのお湯は体にかけないでください。
●シャワーなどお湯を使う場合、最初に熱いお湯が出ることがあります。手のひらで湯温が安定したことを確かめてからご使用ください。

給湯温度を調節するには

◆台所リモコン・浴室リモコンどちらでも操作できます。
ここでは台所リモコンでご説明します。

■台所リモコン

■浴室リモコン

1 運転スイッチを押し、運転を「入」にする
または、
優先ランプの点灯を確認する

●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。
●運転「入」時でも優先ランプが点灯していないと給湯温度を変更することができません。（20ページ参照）

優先ランプ点灯

浴室リモコンの場合
→優先ランプ点灯

2 選択スイッチを押し、給湯温度を変更する

ぬるく　あつく

給湯温度を○○℃に変更しました。

●32℃～45℃の間は押し続けると連続して変わります。それ以降は46、47、48、50、60℃と変わります。
※60℃設定にした場合、注意を促すため、音声や音で熱いお湯が出ることをお知らせします。
●初期設定は42℃です。温度を変更すると設定を記憶します。
●お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、ふろ設定温度のお湯が出ます。

変更後の給湯温度

■ 給湯温度のめやす

★表示の温度と実際の温度は設置条件（季節・配管長さなど）により必ずしも一致しません。
表示の温度はめやすとしてください。

60℃に設定すると音声や音でお知らせ
【138-P011型】 ピピピッ
【138-P010型】 あついお湯が出ます。

初期設定：42

32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	50	60

ぬるい　ややぬるめ　ふつう　ややあつめ　あつい

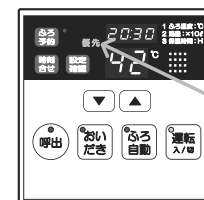
⚠警告

必ず行う

■おふろでお湯を使うときは、必ず浴室リモコンの優先スイッチを押して優先にする
→優先にしないと台所リモコンで温度を変更できるためやけどのおそれがあります。
※浴室リモコンの優先ランプが点灯していることを必ず確認してください。
※優先スイッチの使いかたを参照してください。（20ページ参照）

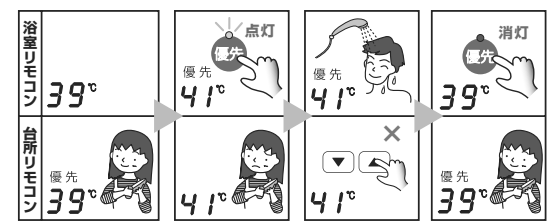
優先スイッチの使いかた

台所・洗面所・シャワーなど、機器からお湯を供給しているところは同じ温度のお湯が出ます。
そのため、お湯を使用中に他の人が給湯温度を変更すると、お湯の温度が変わり、やけどをすることがあります。このような事故を防止するために、どちらか一方の（優先権のある）リモコンでしか給湯温度を変えられないようになっています。

■台所リモコン　■浴室リモコン

浴室リモコンの優先スイッチを押す

●浴室リモコンの優先スイッチを1回押すごとに「浴室リモコン」と「台所リモコン」の間で優先権が交互に切り替わります。
（優先権を持つリモコンの優先ランプが点灯します。）

●台所リモコンで給湯温度を変更できない場合は、一度リモコンの運転を「切」にし、再度「入」にして優先ランプを点灯させてからご使用ください。
※おふろ（特にシャワー）を使用している場合は、絶対にリモコンの運転スイッチを「切」にしないでください。お湯が急に水になります。
●リモコンの運転を「切」の状態から「入」にした場合、運転スイッチを「入」にした側のリモコンが優先権を持ちます。

台所リモコンと浴室リモコンはそれぞれが優先権を持っていたときに設定した給湯温度を記憶しています。優先権が切り替わると優先権を持つリモコンが記憶していた給湯温度になります。
●優先権のないリモコンでは給湯温度を変更できません。
●給湯温度の変更以外は、優先権の有無に関係なく設定したり、変更することができます。

⚠警告

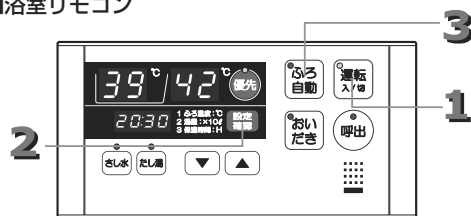
高温注意

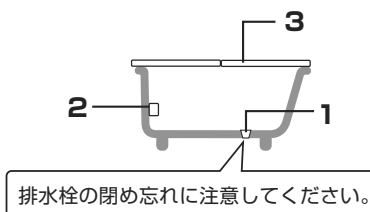
■お湯を使用するときはやけどに注意する
●やけど防止のため、おふろ（特にシャワー）を使用している場合は、絶対に浴室リモコン以外で給湯温度の変更をしないでください。必ず浴室リモコンの優先スイッチを押し、浴室リモコンを優先にしてください。
※浴室リモコンを優先中は台所リモコンの運転を切ったり、入れたりしないでください。
台所リモコンに優先権が切り替わり、熱いお湯が出ることがあります。
●給湯温度を変更する場合や、優先権を切り替える場合は、他の人がお湯を使用していないことを確認してください。

ふろ自動運転でおふろを入れるには

◆台所リモコン・浴室リモコンどちらでも操作できます。
ここでは浴室リモコンでご説明します。

■台所リモコン

■浴室リモコン

運転前の準備

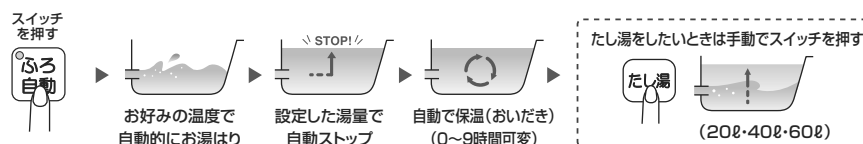
1. 浴そうの排水栓を閉める
2. 浴そうの循環アダプターにフィルターが正しくついていることを確かめる
3. 浴そうのふたをする

1 運転ランプの点灯を確認する

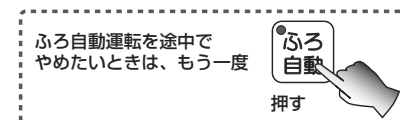
●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。

2 ふろ温度・ふろ湯量・保温時間を確認する

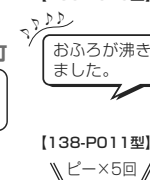
設定/確認スイッチを押す

●設定/確認スイッチを押すごとに、「1、ふろ温度」→「2、ふろ湯量」→「3、保温時間」→「最初の表示画面」と切り替わります。

●ふろ温度の調節は23ページを参照してください。
（台所リモコンで操作した場合、浴室リモコンでもお知らせします。）
●ふろ湯量の調節は24ページを参照してください。
●保温時間の変更は25ページを参照してください。

3 ふろ自動スイッチを押す

●ふろ自動運転を開始します。

4 お湯はり終了後、自動的に保温運転に入ります

●お湯はりが終了すると音声や音でお知らせします。

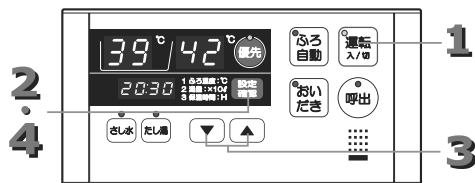
●**設定の保温時間が終了すると**自動停止し、ふろ自動スイッチのランプが消灯します。
（保温時間の初期設定は4時間です。）
●台所リモコンのふろ自動スイッチのランプも消灯します。

知っておいてね

●お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、ふろ設定温度のお湯が出ます。お湯はりが終了すると給湯設定温度のお湯が出るため注意してください。
●お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、お湯はり時間が長くかかる場合があります。
●お湯はり中に時々お湯はりや燃焼を中断してお湯はりに時間がかかることがありますが、これは浴そう内の残り湯を検出するためで異常ではありません。
●お湯はり中に給湯栓から浴そうにお湯を入れたりするとお湯があふれることがあります。
●お湯はり中は、おいだき・たし湯・さし水は行えません。
●リモコンの設定温度を低くしているときや、夏期など水温が高い場合、はじめに設定水位まで水を注水し、おいだきをして設定温度にします。そのため、お湯はりに時間が長くかかります。

ふろ温度を調節するには

◆台所リモコン・浴室リモコンどちらでも操作できます。
ここでは浴室リモコンでご説明します。

■台所リモコン

■浴室リモコン

1 運転ランプの点灯を確認する

●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。

2 設定/確認スイッチを押す

設定項目番号「1」を選択する

●設定/確認スイッチを押すごとに、
「1、ふろ温度」→「2、ふろ湯量」→「3、保温時間」→
「最初の表示画面」と切り替わります。

現在のふろ温度点滅

設定項目番号

3 選択スイッチを押し、ふろ温度を設定する

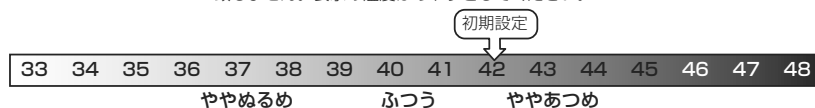
●33℃～48℃の1℃きざみで調節できます。
33℃～45℃までは、押し続けると連続して変わります。
●初期設定は42℃です。温度を変更すると設定を記憶します。
●台所リモコンで操作した場合、浴室リモコンでもお知らせします。

■ ふろ温度のめやす

★表示の温度と実際の温度は設置条件（季節・配管長さなど）により必ずしも一致しません。表示の温度はめやすとしてください。

初期設定

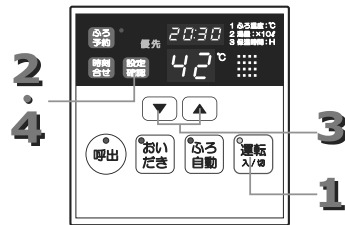
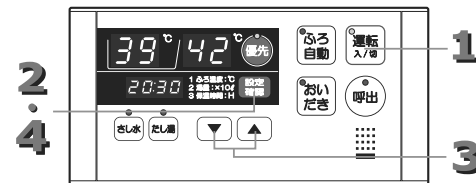
33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48

ややぬるめ　　ふつう　　ややあつめ

4 設定/確認スイッチを押す

●設定を記憶します。
●設定/確認スイッチを押さずに、そのまま約30秒経過するとそのときの設定内容で自動的に設定が完了します。

ふろ湯量を調節するには

◆台所リモコン・浴室リモコンどちらでも操作できます。
ここでは浴室リモコンでご説明します。

■台所リモコン

■浴室リモコン

1 運転ランプの点灯を確認する

●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。

2 設定/確認スイッチを押す

設定項目番号「2」を選択する

●設定/確認スイッチを押すごとに、
「1、ふろ温度」→「2、ふろ湯量」→
「3、保温時間」→「最初の表示画面」と切り替わります。

設定項目番号

3 選択スイッチを押し、ふろ湯量を設定する

●100ℓ～300ℓまでは20ℓずつ、それ以降は350ℓ、400ℓ、450ℓ、500ℓまで調節できます。押し続けると連続して変わります。

●初期設定は180ℓです。

※ふろ湯量の単位は点滅している数字×10ℓになります。

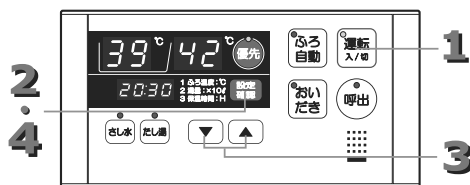
4 設定/確認スイッチを押す

●設定を記憶します。
●設定/確認スイッチを押さずに、そのまま約30秒経過するとそのときの設定内容で自動的に設定が完了します。

保温時間を変更するには

◆台所リモコン・浴室リモコンどちらでも操作できます。
ここでは浴室リモコンでご説明します。

■台所リモコン

■浴室リモコン

◎運転スイッチの「入」「切」に関係なく設定することができます。ここでは運転「入」時でご説明します。

運転ランプの点灯を確認する

●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。

設定/確認スイッチを押す

おふろの保温時間を変更できます。

設定項目番号「3」を選択する

●設定/確認スイッチを押すごとに、「1、ふろ温度」→「2、ふろ湯量」→「3、保温時間」→「最初の表示画面」と切り替わります。

現在の保温時間点滅

設定項目番号

選択スイッチを押し、保温時間を設定する

おふろの保温時間を変更しました。

●0時間～9時間まで選択できます。
●初期設定は４時間です。

保温時間点滅

設定/確認スイッチを押す

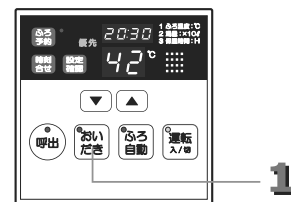
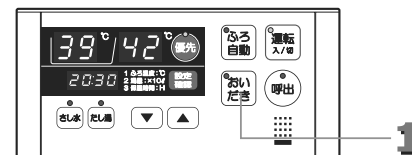
●設定を記憶します。
●設定/確認スイッチを押さずに、そのまま約30秒経過するとそのときの設定内容で自動的に設定が完了します。

ふろ温度表示

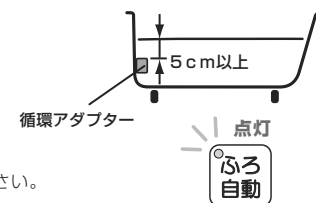
おふろをあつくするには

◆台所リモコン・浴室リモコンどちらでも操作できます。
ここでは浴室リモコンでご説明します。

自動保温中、設定温度より一時的にもう少しあつくしたいと思ったときに、スイッチ１つでおいだきできます。（設定温度プラス1～3℃まで）

■台所リモコン

■浴室リモコン

運転前の準備

浴そうの循環アダプターの上端より5ｃｍ以上お湯が入っていることを確認する

●5cm未満の場合、空だきのおそれがあります。

自動保温中であることを確認する

●ふろ自動スイッチのランプが点灯していることを確認してください。
保温中以外は沸かし直し（29ページ参照）の動きになります。

おいだきスイッチを押す

●おいだきスイッチを押すとおいだき温度（設定温度+1℃）が点滅し、**設定温度より1℃高い温度までおいだきします。**
●おいだき温度点滅中においだきスイッチを押すごとに、**「設定温度+2℃」→「設定温度+3℃」→「おいだき 切」**と調節できます。

※ふろ温度の最高温度（48℃）より高い温度にはおいだきできません。

●おいだきが終了すると自動的に止まります。
●おいだき終了後、もとの設定温度に戻ります。

台所リモコンで操作した場合のみ音声や音でお知らせします。
（浴室リモコンで操作した場合はお知らせしません。）

【138-P010型】	【138-P011型】
おふろが沸きました。	ピー×5回

おいだき温度点滅

点火確認ランプ点灯

おいだき終了後

設定温度に戻る

おいだき温度確定後（おいだき温度点灯中）に、おいだきをやめたいとき

もう一度押す

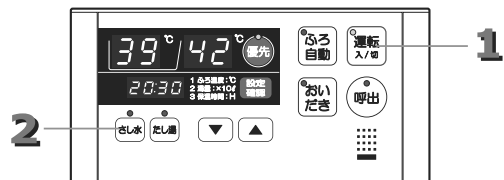
知っておいてね

●台所リモコンのおいだきスイッチを押した場合は、すぐにはおいだきを開始しません。機器からポンプが動く音は聞こえますが異常ではありません。しばらくするとおいだきを開始します。
●給湯栓から浴そうにお湯をためてからおいだきした場合、おいだきを開始するまでに時間がかかりますが、異常ではありません。

おふろをぬるくするには

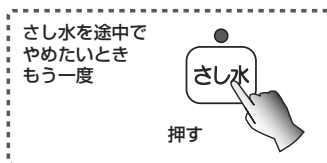
◆浴室リモコンで行います。

入浴時お湯の温度をもう少しぬるくしたいと思ったときに適量の水を給水して湯温を下げる機能です。

■浴室リモコン

1 運転ランプの点灯を確認する

●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。

2 さし水スイッチを押す

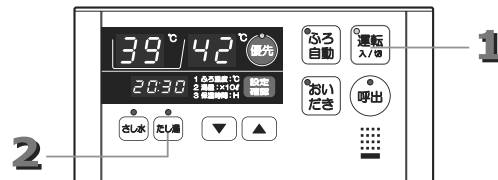
●水を10ℓたします。

知っておいてね

●さし水スイッチを押すと、ふろ配管内の残り湯を押し出し、配管内に新しい水が流れ込むため、配管クリーンと同様の効果があります。(39ページ参照)
●さし水中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると水が出ます。さし水が終了するとお湯が出るため、注意してください。

おふろにお湯をたすには

◆浴室リモコンで行います。

お湯の量を増やしたいと思ったときに適量のお湯をたす機能です。

■浴室リモコン

1 運転ランプの点灯を確認する

●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。

2 たし湯スイッチを押す

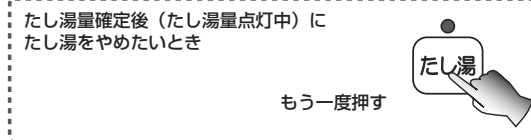
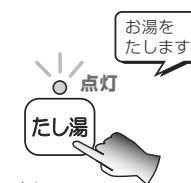
●たし湯スイッチを押すとたし湯量が点滅し、**ふろ設定温度のお湯を20ℓたし湯します。**

●たし湯量が点滅中にたし湯スイッチを押すごとに「20ℓ」→「40ℓ」→「60ℓ」→「たし湯 切」とたし湯量を調節できます。

●たし湯が完了すると自動的に止まります。
※たし湯を行っても設定湯量は変わりません。

たし湯量点滅　ふろ温度表示

たし湯中

たし湯終了後　給湯温度表示

知っておいてね

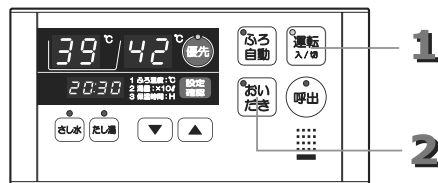
●たし湯スイッチを押すと、ふろ配管内の残り湯を押し出し、配管内に新しいお湯が流れ込むため、配管クリーンと同様の効果があります。（39ページ参照）
●たし湯中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、ふろ設定温度のお湯が出ます。たし湯が終了すると給湯設定温度のお湯が出るため、注意してください。

残り湯を沸かし直すには

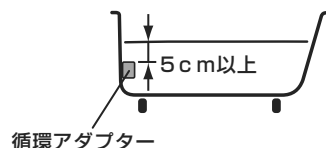
◆台所リモコン・浴室リモコンどちらでも操作できます。
ここでは浴室リモコンでご説明します。

残り湯を沸かし直したいときや、沸かし直し直後もう少しあつくしたいときはおいだき機能を使って沸かし上げます。

■台所リモコン

■浴室リモコン

運転前の準備

浴そうの循環アダプターの上端より5cm以上お湯が入っていることを確認する

●5cm未満の場合、空だきのおそれがあります。

1 運転ランプの点灯を確認する

●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。

2 おいだきスイッチを押す

●おいだきスイッチを押すとおいだき温度（設定温度）が点滅し、**設定温度までおいだきします。**

●おいだき温度点滅中においだきスイッチを押すごとに、
「設定温度+1℃」→「設定温度+2℃」→「設定温度+3℃」→「おいだき 切」と調節できます。

※ふろ温度の最高温度（48℃）より高い温度にはおいだきできません。

●おいだきが終了すると自動的に止まります。
●おいだき終了後、もとの設定温度に戻ります。

点灯 おいだきをします。

おいだき温度点滅

点火確認ランプ点灯

おいだき終了後

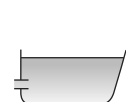
設定温度に戻る

台所リモコンで操作した場合のみ音声や音でお知らせします。
（浴室リモコンで操作した場合はお知らせしません。）

【138-P010型】	【138-P011型】
おふろが沸きました。	ピー×5回

おいだき温度確定後（おいだき温度点灯中）に沸かし直しをやめたいとき　もう一度押す

残り湯を沸かし直すときの注意

① 残り湯が十分にあるとき（設定湯量付近まで残り湯があるとき）

おいだきスイッチをお使いください。（29ページ参照）

ふろ自動スイッチを押すと湯量が増え、お湯があふれることがあります。

② 残り湯が循環アダプターを隠しているとき

おいだきスイッチを押しておいだきし、足りない湯量はたし湯スイッチを押してたし湯してください。
（おいだき：29ページ参照、たし湯：28ページ参照）

ふろ自動スイッチを押すと水位が多少ばらつきます。
※お湯があふれそうになったり、少なかったりします。
※特に残り湯の温度がふろ設定温度に近いときは、設定した湯量になりません。

③ 残り湯が循環アダプターの下にあるとき

ふろ自動スイッチをお使いください。（21ページ参照）
※残り湯がないと検知し、自動運転を行います。
残り湯の分だけ水位が高くなるため、お湯があふれることがあります。

知っておいてね

●残り湯が浴そうの循環アダプターの上端より5cm以上に満たない場合に自動運転を行うと、残り湯を検出できず、残り湯に設定湯量をたすことになります。この場合、残り湯の分だけ設定湯量より湯量が増えるため、浴そうからお湯があふれることがあります。
●ふろ自動運転での沸かし直しの場合は、設定湯量に対して多少の増減があります。
●ふろ自動運転での沸かし直しの場合は、残り湯が設定湯量近くある場合でも、残り湯を検出するためのたし湯を行います。
●設定温度付近のお湯が残っている状態でふろ自動運転を行うと、たし湯しないことや、湯量が多少ばらつくことがあります。